

商学部

FACULTY OF BUSINESS AND COMMERCE

商学部 ホームページ

商学部のさらに詳しい情報、最新のトピックを知るには、「商学部ホームページ」をご確認ください。商学部紹介ムービーや商学紙芝居など、楽しいコンテンツも満載です。スマートフォンやタブレットでも見やすいように、レスポンスwebデザインを採用しています。



関西大学 入学試験情報総合サイト Kan-Dai web

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載! 社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。



関大 入試 検索 /クリック! \



関西大学の最新情報をチェックしよう!

LINE 関西大学 入試センター 公式アカウント



友だち登録はこちらから!

Instagram 関西大学 入試センター 公式Instagram



X 関西大学 入試広報グループ 公式 X



YouTube 関西大学 入試センター 公式YouTube



大阪(大阪梅田)からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」駅から、「北千里」行で「関大前」駅下車(この間約20分)、すぐ。または「京都河原町」行の場合「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

京都(京都河原町)からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」行で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車、すぐ。

Osaka Metro利用のアクセス

Osaka Metro堺筋線(阪急電鉄に相互乗り入れ)が阪急電鉄「淡路」駅を経て「関大前」駅に直通しています。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス

JR「新大阪」駅からOsaka Metro御堂筋線「なかもず(方面)」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方(みなみかた)」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

大阪国際(伊丹)空港からのアクセス

大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市(かどまし)」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

商学科

流通専修

ファイナンス専修

国際ビジネス専修

マネジメント専修

会計専修

公認会計士試験の合格と、
ビジネススキルの修得をフルサポート。

ALSP



イギリスの古都・ヨークに
滞在しながらビジネス英語を学ぶ。

BestA



プロアクティブなビジネス
少数精鋭のプログラムを

BLS P



ポテンシャル豊かなイノベーターを創出し、
社会に貢献できる人材を育成。

DSI



実践的な学びで高度な金融知識を
身に付ける。

FSP



商学部でどう学ぶか

私たちの学部では、大きく分けて2つの学び方があり、自由に選ぶことができます。1つ目は、「ゼミナール」に進んで専門研究を進めていくことです。多くの学生がゼミナールに所属します。2つ目は、「実践プログラム」に参加することです。実践プログラムでは、特定分野のスペシャリストをめざすための特別なカリキュラムを提供しています。商学部ではほかにも、資格取得による単位認定、公表・表彰や、商学研究科(高度専門職養成コース)への進学を前提とした早期卒業(在学3年間で卒業)制度を設けています。

商学部 3つの学びのPOINT

1. めざす将来像をイメージしながら学べる5つの専修。
3年次に分属する流通専修・ファイナンス専修・国際ビジネス専修・マネジメント専修・会計専修の5つの専修では、将来の社会経験をイメージした専門的な学びを通して、自分のめざすべき将来像や各業界への適性を感じ取ることができます。
2. ビジネスの現場で使える力を養う実践プログラム群。
ビジネス英語やビッグデータ分析手法など、グローバル社会および、ビジネスの現場で求められる力を身に付けるために用意されているのが、商学部の実践プログラム群。豊富な体験と達成感の積み重ねによって、実用的なスキルと強い自信を磨きます。
3. 社会やビジネスの現場で役立つ資格取得を学部でサポート。
資格取得に関連した科目を多数配置し、在学中の合格に向け、学習環境を整えています。公認会計士のほか、日商簿記検定、税理士、中小企業診断士等さまざまな資格をめざすことが可能です。また、学外の資格を取得した場合に、専門教育科目の単位として認定する制度も設けています。

Contents

03	商学部の学び 4年間の流れ	11	ビジネスのスペシャリストになる DSI サービス・イノベーション特別プログラム FSP ファイナンス特別プログラム
05	5専修紹介		
07	公認会計士試験合格支援体制	13	キャリアデザイン・資格/OB・OGからのメッセージ
08	会計のプロをめざす ALSP 会計連携特別プログラム		※本誌に記載されている学生の学年表記は取材時のものです。
09	ビジネス英語に強くなる BestA 海外ビジネス英語プログラム BLS P ビジネスリーダー特別プログラム		

学部長からのメッセージ

考え、動き、突破するビジネスリーダーをめざして

日本は少子高齢化の進展、急速なグローバル化、人工知能の普及やデジタル化など、次々と新しい困難な問題に直面しています。激変する環境の中、企業は新しい価値を創造し、成長しなければなりません。商学部はその最前線で活躍するビジネスリーダーを育成してきました。

商学部は直面する諸問題を自ら解決できるビジネスリーダーを育成するため、体系的かつ実践的なカリキュラムを用意しています。そして学生の希望に添った特別プログラムは高度な専門家に必要な実践的な知識と貴重な経験を獲得できるように設計されています。単なる知識とは違い、将来の礎となる貴重な体験を得られるはず。その体験が社会に出てからの突破力となっていきます。

このパンフレットを手にした皆さんには、ぜひともキャンパスに足を運んでみることをお勧めします。先輩たちが充実したキャンパスライフを送っていることを目にすることができるといいます。キャンパスで会えることを楽しみにしています。



商学部長
岸谷 和広 教授

めざすのは、英語と会計に強いビジネスパーソン。

1年次 入門科目や共通科目で商学の入門知識に触れる。
入門科目では商学の全体像を理解。共通科目では、商学の基礎である会計の知識や、簿記や情報処理、ビジネス英語を学びます。

共通教養科目・外国語科目

入門科目(必修科目)

共通科目(選択科目)



1年次のときには少人数のゼミ形式の授業で、大学での過ごし方や勉強の仕方を理解します。

2年次 幅広い知識に触れ、興味を広げつつ3年次以降の進路を考える。
共通科目では専門分野の基礎を学び、応用科目では自分の興味に合わせて学びます。演習科目は本格的なゼミの予行演習です。



2年次の秋学期には、3年次から開始する本格的なゼミ活動に円滑に取り組めるよう、予行演習として演習(プレゼミ)を受講できます。

応用科目(選択科目)

演習科目(選択科目)

3・4年次 専修・ゼミに所属し、専門研究を通して卒業論文を完成させる。
所属するゼミを選んで、指導教員や他のゼミ生とともに研究を行います。実践プログラムに参加する道もあります。

3年次からは**5つの専修**から一つを選び、所属する**ゼミ**で専門性を磨く

- ▶ **流通専修** 紹介は05ページへ
流通のメカニズムや企業活動に関する知識、理論を学ぶ。
- ▶ **ファイナンス専修** 紹介は05ページへ
金融機関の構造を資金運用、リスクなどを中心に学ぶ。
- ▶ **国際ビジネス専修** 紹介は06ページへ
国際関係、貿易、世界経済などをグローバルな視点で学ぶ。
- ▶ **マネジメント専修** 紹介は06ページへ
管理、労務、情報、戦略など、企業・経営の実務を学ぶ。
- ▶ **会計専修** 紹介は07ページへ
簿記や会計情報を読み解く実務と理論を学ぶ。

卒業・大学院進学!

! 本学商学研究科(高度専門職養成コース)および、本学会計専門職大学院への進学をめざす、きわめて優秀な学生を対象に 早期卒業(在学3年間で卒業)を認める制度を設けています。

詳しくは商学部ホームページ「早期卒業制度」をご覧ください



さらに実力を高めたい人には

実学を実践的に学べる5つのプログラムを活用して大きく力を伸ばそう!

会計のプロをめざす

実践プログラム①

ALSP

公認会計士試験の合格と、ビジネススキルの修得をフルサポート。

会計力 × 実践力

1年次より履修可能

紹介は08ページへ

ビジネス英語に強くなる

実践プログラム②

BestA

イギリスの古都・ヨークに滞在しながらビジネス英語を学ぶ。

英語力 × 実践力

1年次より履修可能

紹介は09ページへ

ビジネスのスペシャリストになる

実践プログラム③

BLSP

プロアクティブなビジネスリーダーをめざす、少数精鋭のプログラムを展開。

英語力 × 実践力

2年次より履修可能

紹介は10ページへ

ビジネスのスペシャリストになる

実践プログラム④

DSI

ポテンシャル豊かなイノベーターを創出し、社会に貢献できる人材を育成。

発見力 × 実践力

3年次より履修可能

紹介は11ページへ

実践プログラム⑤

FSP

実践的な学びで高度な金融知識を身に付ける

金融力 × 実践力

2年次より履修可能

紹介は12ページへ

流通専修

生産と消費をつなぐ流通のメカニズムや企業のマーケティング戦略に関する理論を、さまざまな視点から解明していきます。経済や流通の基本であるヒト、モノ、マネー、そして近年特に重要になってきている情報が、どのように流れていくかということに焦点を合わせ、社会・経済・経営の仕組みを明らかにします。

幅広い流通業界の戦略や課題を学び、私のめざす将来像が見えた。

さまざまな流通業界の戦略や課題、将来性について学べる点に魅力を感じ、流通専修へ。自分が何に興味をひかれるのか、どんな仕事をしたいのかまだ分からない人も、興味・関心がわく対象と出合える機会が多くあります。私はこの専修で環境に優しい商品に興味を抱き、素材メーカーの戦略を学びたい、社会課題を解決する仕事に就きたいと考えるように。消費者行動や農産物の流通など身近な内容を掘り下げ、業界の裏側を学べるのも魅力です。

3年次生 / 田房 麻綺
(大阪/府立牧野高校出身)



こんな人にオススメ!

- ▶ 商品がヒットした秘密を探りたい
- ▶ お客さんが集まる店の条件を知りたい
- ▶ コンビニエンスストアの商品戦略を学びたい
- ▶ 消費者の視点からマーケティングを考えたい

田房さんの4年間の成長ストーリー

- 1年次** いずれ社会で働く上で知っておきたい、商業の基礎知識を学びました。例えば「簿記入門」では、どのようにお金が動いているか理解できます。入門科目で吸収した知識で、2年次以降の講義が理解しやすくなりました。
- 2年次** 秋からの演習(プレゼミ)では、コンビニエンスストアの戦略を研究。店舗でアンケートやインタビューを行い、品数を多く見せる陳列の工夫など、ネット検索では得にくい情報を私たち自身で集める面白さを感じました。
- 3・4年次** 100円や300円で商品を売る均一価格店の戦略と課題を調査。物価上昇の中で小売各社がとる新戦略、ターゲットや競合企業の動向に興味深く学んでいます。環境への取り組みにも敏感になり、企業活動を見る目が変わりました。

こんな人にオススメ!

- ▶ 外国企業による日本企業買収について学びたい
- ▶ ビジネス英語を習得し、海外の人とコミュニケーションしたい
- ▶ アジア諸国の経済事情を探りたい
- ▶ 海外商品の輸入方法を知りたい

国際ビジネス専修

国際ビジネスに必須のビジネス英語、外国との貿易、支払いのための外国為替、国際売買取引の仕組み、国際間の経済、政治、さらに米国、欧州、アジア、中南米、ロシアの経済、国際間の海運や航空輸送、米国、EU、アジアを中心に展開される国際物流などについて学びます。

グローバル化した世界の難問に「自分事」として向き合う。

高校時代にタイのバンコクを訪れ、発展した街の横に広がるスラム地域に衝撃を受けました。それを機にアジアの経済発展と貧困に関心をもち、国際ビジネス専修へ。グローバル化した現代のビジネスとその裏で生じた問題、国の思惑や歴史が経済に与える影響を学んでいます。フェアトレードを広めて社会問題の解決につなげようと、産学連携の商品開発プロジェクトにも参加。チームで課題に向き合い、視野の広がりを実感しています。

3年次生 / 柴垣 萌
(京都/市立西京高校出身)



柴垣さんの4年間の成長ストーリー

- 1年次** 経済分析に用いる数式を学ぶ「経済入門」など、必修科目で基礎を習得しました。選択科目や教養科目で履修した世界史や現代経済で、自分の関心を再認識。簿記にも興味があり、当時は公認会計士の道も考えていました。
- 2年次** 後期の演習選択では会計のゼミと迷った末、開発経済がテーマのゼミへ。身近な食べ物を通して世界の歴史を学び、フェアトレードの必要性を痛感。海外で起きている出来事を他人事ではない問題として考えられるように。
- 3・4年次** 企業と連携し、フェアトレードのコットンとコーヒーを用いた商品開発に挑戦。まずはフェアトレードの認知度アップが目標です。さらに国際関係や経済構造を学び、現地の人にも信頼されるような社会人をめざします。

ファイナンス専修

社会にとって資金は人間の血液に相当します。企業、家計、政府が経済活動を行う上で必要となる資金の調達や運用、種々の金融機関からなる金融制度や、為替、証券市場などの金融市場がどのような仕組みと機能を有し、ビジネスや経済とどのように絡み合っているのかを学びます。

暮らしに欠かせないお金の流れを理解し、自分の人生に活用できる。

銀行員の父に影響を受け、将来は金融業界で働きたいと考え、ファイナンス専修を選びました。お金の仕組みや経済の動きを学べば、どんな人でも自分の人生に活用できると思います。ゼミの主なテーマは「金融政策と日本経済」ですが、研究対象は金融に限らず、経済と結び付いた内容を数式で分析したゼミ生も。講義を通じて証券への関心が深まり、実践プログラムでは銀行の渉外活動にも帯同。この専修で進路選択の幅が広がりました。

3年次生 / 渡辺 結衣
(大阪/関西大学第一高校出身)



こんな人にオススメ!

- ▶ 社会や企業のお金の流れについて考えたい
- ▶ 銀行や証券会社の機能や役割を探りたい
- ▶ 保険の適切な活用法を学びたい
- ▶ 金融政策や税金の制度を知りたい
- ▶ ファイナンスのさまざまな分析手法を学びたい

渡辺さんの4年間の成長ストーリー

- 1年次** 「経済入門」では実証されたデータをもとに、理論で経済の動きを理解できる面白さを感じました。外国語にも力を入れ、「ビジネス英語入門」と「初級ビジネス英語」ではビジネスシーンに合わせた英語表現を学べました。
- 2年次** 8月末から3月までカナダへ留学。春学期は英語と並行し、流通やマネジメント、情報処理に関して学びました。留学先からオンラインでゼミの説明を受け、財政政策から日本経済を捉えたいと考えて所属ゼミを決めました。
- 3・4年次** 3年次は経済予測に用いるデータ分析法を学習。4年次ではその手法を応用し、個々の興味に応じた対象を分析します。今後さらに金融知識を深め、就職先でお客さまにパートナーとして選んでもらえる人材をめざします。

こんな人にオススメ!

- ▶ 企業経営者として世界をリードしたい
- ▶ 新しいビジネスの創造を考えたい
- ▶ インターネットビジネスについて知りたい
- ▶ データを活用し、ビジネスに有用な知識を得たい

マネジメント専修

グローバルでダイナミックに変化する環境は、多くの問題を企業に投げかけています。企業は、直面する課題をどのように解決しようとしているのでしょうか。マネジメント専修ではヒト、モノ、マネー、情報などに焦点を当て、ビジネスに関する意思決定の理論、歴史、政策を学びます。企業経営、組織運営の実際を、管理、労務、情報処理、戦略など多角的に分析し、理解します。

世の中の動きを多角的に捉え、未来の社会システムを考える。

「企業の意思決定の背景には何があるのか?」この専修で学び、ニュースの見方が変わりました。以前は聞き流していた出来事も、今は自分ならどうするか考え、多角的に社会を捉えられるように。ゼミでは未来のビジネスについて学び、自動運転車など新システムが世の中でどう受け止められ、普及にどんな課題があるかを研究。業界を超えた企業の連携や社会全体の動きを感じながら、経営者視点で新たな価値を生むサービスを考えたいです。

3年次生 / 中山 駿
(大阪/上宮高校出身)



中山さんの4年間の成長ストーリー

- 1年次** 「経営入門」で、理念に基づき人材を大切に育てる企業の事例を学び、経営方針とリンクしたマーケティング戦略に興味をもちました。共通教養科目では社会学の入門講義を履修。人の心理や社会性への関心が深まりました。
- 2年次** 経営戦略やマーケティングのフレームワークを学び、より企業の意思決定や戦略について理解を深めたいと思うように。秋学期の演習では、既存事業の深化と新規事業の探索を両立する「両利きの経営」について学びました。
- 3・4年次** モビリティとまちづくりをテーマに、新たなビジネスを研究しています。特に、複数の移動手段を1つにまとめる新サービス「MaaS(マース)」研究に注力。将来はビジネスの力で社会に新たな価値をもたらしたいと考えています。

会計専修

企業の経営者と投資家や銀行などの利害関係者の行動を左右する会計情報が、どのように作り出され、どうやって利用されるかについて学びます。そして、企業活動の運営に欠かせない手段としての簿記や、企業の会計情報を読み解く力を養います。実務と理論を学び、公認会計士や税理士、国税専門官、一般企業の経理担当者など、スペシャリストへの道を開く専門コースです。

こんな人にオススメ!

- ▶ 企業のマネジメントを計数を通じて知りたい
- ▶ 公認会計士になりたい
- ▶ コンピュータを利用し、企業を分析したい
- ▶ 証券取引などの企業投資を学びたい

数字から企業を分析する力で将来の選択肢が広がっていく。

以前から企業活動を支える会計に関心があり、入学後の講義で専門的に学ぼうと決意。ゼミで「サステナビリティに対し、会計学はどうか貢献できるのか」を研究しています。持続可能性がビジネスで重要視され始めたのは最近のこと。新たな理論が絶えず現れ、知見が広がる面白さを感じます。数字で事実を分析するため、客観的に問題を理解し意思決定する力も向上。専修で身に付く知識や分析力はどんな職業でも社会で応用できると思います。



3年次生 / 西村 涼太郎
(兵庫/県立川西北陵高校出身)

西村さんの4年間の成長ストーリー

1年次

入学前は簿記を理解できるのか心配もありましたが、「簿記入門演習」を通じて数値やデータを扱う面白さを感じるように。自分で考えて解く時間が設定されているので、演習で疑問を解消しながら知識を吸収できました。

2年次

企業会計を学ぶ「商業簿記」や、ものづくりの過程に注目する「工業簿記」を履修し、会計専修へ進もうと決めました。より専門的に、企業活動や会計実務と結び付けて数値や情報の解釈・分析を行いたいと考えたからです。

3・4年次

「企業の統合報告書を就職活動にどう生かすか」をゼミで分析。サステナブルな活動や経営を会計視点で読み解いています。将来はコンサルタントをめざし、複雑な問題から解決策を導き出す力を身に付けるのが目標です。

会計のプロをめざす

企業の経営者や従業員、投資家や銀行など企業内外の関係者が意思決定を行うために、会計は必要不可欠です。公認会計士試験や日商簿記検定などの資格合格をめざし、「会計のプロ」を育成します。

実践プログラム①

ALSP

短期間で公認会計士をめざす

会計連携 特別プログラム

Accounting Linkage Special Program

会計力
×
実践力

プログラム体験メッセージ

会計学の理論を深く理解できたことが3年次での早期合格につながりました。

高校3年生のとき、学部案内のパンフレットで公認会計士の存在を知り「カッコいい!」と思ったことが資格取得をめざしたきっかけです。高校卒業前に簿記の独学を始め、日商簿記検定2級に合格できる実力が付けば公認会計士をめざそうと決めました。簿記の学習を進め、2級を取得した1年次生の11月ごろ、正式に受験を決心しました。そこで受験予備校での勉強と並行し、2年次の秋から本格的にALSPプログラムに参加しました。

ALSPプログラムでは、会計専門職大学院の先生から実務に直結する講義を受け、ゼミ形式のワークショップで会計理論の背景を学んで理解を深めることができます。ワークショップでは発言の機会が与えられるため、明確に説明できるようにアウトプットを意識した学習を行うようになり、同じ志の仲間とディスカッションできる環境も成長につながりました。公認会計士試験の問題では、複雑な全体像を理解する応用力も問われます。自分なりに納得するまで考え、そうした難問に対応できる力が身に付いたのも、知識を暗記で終わらせず考え方の本質まで学べたALSPプログラムのおかげだと思います。



4年次生 / 丸山 裕蔵
(大阪/関西大学第一高校出身)

公認会計士試験合格を徹底サポート

商学部では、公認会計士をめざす学生を対象にした支援体制を、学部を挙げて整備しています。

2023年公認会計士試験に 関西大学から41名が合格。うち12名が 商学部在学中に合格!

企業の経営・財務活動を支えるニーズの高い資格。公認会計士は、会計の専門家であり、独立した立場において、監査、税務、コンサルティングなどさまざまな役割を果たしています。

監査業務

企業の会計情報(財務書類)の正しさを第三者の立場からチェックします。透明性のある社会・経済を築くために必要かつ重要な業務です。

税務業務

税理士登録もすることができ、税務書類の作成や税務に関する相談を行うことができます。監査法人等に所属せず、個人で業務を行います。

コンサルティング業務

経営戦略の立案、組織構成に関する提案など、企業の重要な意思決定に関わって支援します。今後はますます重視される業務です。

支援の特徴

簿記検定チャレンジ模試で奨励金を授与 奨励金で、簿記検定合格を応援します。

秋学期に開催する「簿記検定チャレンジ模試」は、日本商工会議所が主催する簿記検定試験の直前対策の一環で、成績優秀者には、関西大学エクステンション・リードセンターや専門学校などの公認会計士受験対策の受講費用を援助するために、奨励金を授与しています。毎年、過去の入賞者が公認会計士試験に合格しています。それは、簿記検定チャレンジ模試後にさらに勉強を続けた努力の成果ですが、「奨励金」がその一助となっています。



学外資格単位認定制度

日商簿記検定試験、税理士試験科目、公認会計士試験の合格者に対する学外資格を単位認定する制度があります。

公認会計士試験受験支援自習室の貸与

千里山キャンパス(第2学舎2号館7階)にある公認会計士試験受験支援のための自習室を有料で貸与。参考書や受験雑誌、自習用の机を用意しています。



日商簿記検定直前対策(3級・2級)

日商簿記検定試験の直前対策の一環として、受験専門学校と連携して、「検定直前攻略セミナー」を実施しています。

エクステンション・リードセンター

学内機関としてエクステンション・リードセンターがあり、専門学校と連携して公認会計士入門講座が開講されています。

合格祝賀会の開催

関西大学の在学生・卒業生の公認会計士試験合格者に対して、毎年、合格祝賀会を公認会計士関大会(OB・OG会)とともに開催しています。

公認会計士制度の紹介

公認会計士制度説明会、日本公認会計士協会による講演会、公認会計士試験合格者による講演会などを開催し、さまざまな情報提供を行っています。

ALSPでの経験と公認会計士試験合格までの道のり

1年次

秋に日商簿記検定2級を取得できたことに自信を得て、エクステンション・リードセンターを受講。12月から公認会計士試験に向けた対策をスタートしました。



2年次

秋から本格的にALSPプログラムに参加しました。エクステンション・リードセンターの講座修了後に受験予備校にも編入し、講義や答案練習(テスト)に加え、毎日平均7時間の自習に励みました。



3年次・4年次

8月の記述試験をクリアし、3年次での早期合格を実現! ほどなく大手監査法人へ就職も決まり、4年次から学生非常勤として働き始めました。顧客企業と頻繁にやりとりし、一人前の会計士をめざして実践を重ねています。

▶ 公認会計士試験の合格と、ビジネススキルの修得をフルサポート。

資格取得に向けて効果的なカリキュラムを提供

専任教員や外部講師による演習形式の講義を通して、効率的な学修を可能にするカリキュラムを編成しています。

講義は定員制で集中できる環境で実施

履修定員を設けることで、集中して学べる環境を整えました。ゼミ形式のワークショップなど実践的な学びを通じ、専門知識を深めています。

卒業所要単位を満たすことができる

ALSPでは十分な学習時間が確保できるように、26科目52単位を配当し、計14単位まで卒業所要単位に算入できます。

ビジネス英語に強くなる

実践プログラム②

BestA

イギリスでビジネス英語を身に付ける

海外ビジネス英語プログラム

Business English Study Abroad

英語力
×
実践力

プログラム体験メッセージ

イギリスの美しい街に留学し、英語でビジネスのプランを提案しました!

ヨーロッパの中心地イギリスに滞在し、ビジネスを英語で学ぶ。この留学プログラムの存在が、商学部へ進んだ理由です。マーケティングや企業分析など専門分野を英語で教わるだけでなく、フィールドワークで産業の歴史や現場を体感。老舗スーパーの沿革を学んで資料館を訪れたり、店頭でインタビューして情報を集めたりと、インプット&アウトプットを繰り返しました。最終課題では、3人1組で現地の特産品を日本に広める戦略を練り、英語でプレゼンテーションに挑戦。私たちはヨークのお酒を日本人の舌に合う風味に変え、ホテル限定で販売するプランをパッケージや広告と併せて提案し、高い評価をいただきました。留学先で多くの人と出会い、文化の違いを楽しんだ経験も、コミュニケーション能力の成長につながったと感じています。



3年次生 / 大和 歩乃佳
(奈良/育英西高校出身)

BestAに参加して成長したこと

参加前

春から事前授業に参加。ディスカッションに使う英会話表現を学んだ後、実際に英語で意見を交わしました。毎回違うテーマに取り組み、英語で自分の考えを伝える力を磨いて留学に備えました。

留学中(24日間)

毎日アクティブに動き回り、授業後は街で現地のひととの交流も楽しみました。有名なカントリーハウスでピアニストと親しくなり、大邸宅のピアノを弾かせてもらった時の感動は忘れられません!



参加後

イギリスでは多くの人が「日本が好き」「日本に行きたい」と言ってくれました。一方、日本の観光地には多くの課題を感じます。今後は語学とビジネス両面の学びを生かし、海外と日本をつなぐ観光業に携わりたいと考えています。

▶ イギリスの古都・ヨークに滞在しながらビジネス英語を学ぶ。

ビジネス英語に特化した商学部独自のプログラム

教室での学習だけでなく、商業施設見学やイギリス国内旅行企画などを通して、イギリスのビジネスの現場を実際に体験。語学力の向上を狙います。

プログラムを実施できないまたは変更する場合があります。

約4週間集中で本場ビジネススクールの講義を受ける

イギリス・ヨーク大学と提携。約4週間現地に滞在し、ビジネス英語を短期集中で身に付けます。



約3カ月間の長期で学ぶ BestA 1学期コース

さらに長期間じっくり学びたいという学生のため、9月上旬から12月上旬の約3カ月にわたるプログラムも用意しています。本学の認定留学制度を利用します。

BestA 紹介ムービー



海外ビジネス英語プログラム(BestA)のイギリス・ヨークにおける留学風景を紹介。現地での取り組みやホームステイ先での様子、休日の過ごし方など、BestAのイメージがつかめます。



1分55秒
ショートバージョン

10分40秒
ロングバージョン

グローバル化が進み、ビジネスにおいて英語が重要視されています。さまざまなビジネスシーンに対応できる実践的な英語力や自らの意見を発信していく能力を身に付け、国際社会で活躍できる人材を育成します。

実践プログラム③

BLSP

英語に強いビジネスリーダーをめざす

ビジネスリーダー特別プログラム

Business Leader Special Program

英語力
×
実践力

プログラム体験メッセージ

英語力とビジネススキルを実践的に磨き、海外企業の課題解決にも挑戦しました。

海外企業の課題解決に取り組むワークショップなど、学生の目線で企業と関わるプログラムがBLSPの大きな魅力です。参加前は英語に対する苦手意識や不安もありましたが、挑戦することで成長し、社会で活躍するための力を付けたいと考えBLSPに参加しました。ビジネス英語やデータ分析といったハイレベルな授業を受けながら仲間と切磋琢磨する環境に身を置き、自分が大きく変化できたと感じます。

BLSPでは英語でのコミュニケーションやプレゼンテーション、海外ワークショップという豊富な実践の機会を通して英語力を鍛えられました。さらに、少人数のグループで主体的にプロジェクトを進めるため、人に正しく伝える力や論理的思考力、企業の思いを的確に汲み取り課題と向き合う姿勢、チームで連携しプロジェクトをやり遂げる力など、社会人として必要になる大切なスキルを磨くことができました。シンガポール研修では、提携企業の専門的な説明を理解するのに苦労しましたが、英語でやりとりを重ねて認識のズレを解消。最終発表に対し満場の拍手をいただき、国を超えて課題解決に役立てたことに大きな喜びと達成感を味わえました。



4年次生 / 丸尾 七海
(大阪/府立三島高校出身)

BLSPでの経験

2年次

秋学期の演習では、コロナ収束後の新たなホテル活用策を立案。公園で家族に聞き取り調査を行い、休息したいお母さん、子どもと触れ合いたいお父さんがそれぞれ楽しめるディユースのプランを提案しました。

3年次

春学期には会員制の卸売店と連携し、若年層に向けた来店促進イベントを考案。2月にはシンガポールへ。入院患者がバーチャルで外国旅行を楽しめるよう、現地の方の動画をVRで共有するプラットフォームを考え、英語で発表を行いました。



4年次

プロジェクト・ペーパーを執筆し、新たに電気店や靴店と連携して企業の課題解決に挑戦中。今後も苦手なことにも恐れずチャレンジし、いずれは社会でプロジェクトをリードする存在になりたいと考えています!

▶ プロアクティブなビジネスリーダーをめざす、少数精鋭のプログラムを展開。

海外でプレゼンテーションをするのに十分な英語力を身に付ける

2年次でプレゼンテーションの基礎を学んだ上で、3・4年次にかけてプロジェクトに取り組み、プレゼンテーション能力を磨いていきます。

1クラス15名程度の少数精鋭のゼミ形式

3・4年次は、少人数制のゼミで細かい指導を行います。チームでプロジェクト研究に取り組み、リーダーシップとプロジェクト実践力を身に付けます。

現地企業・大学でプロジェクト研究のプレゼンテーションを

3年次の春学期より準備を始め、夏の海外ワークショップにて、現地企業や大学でプロジェクトの調査・発表を英語で行う予定です。



▲シンガポール研修の様子

ビジネスのスペシャリストになる

ビジネスの世界で必要とされるのは「最後まで自分で成し遂げる力」。大規模なデータの分析力、リサーチ力、コミュニケーション能力を徹底的に鍛え、企業や組織に新しい価値をもたらすサービス・イノベーターを育成します。

実践プログラム④

DSI

データ分析で新たなビジネスを生み出す
サービス・イノベーション
特別プログラム

発見力
×
実践力

Data Mining and Service Science for Innovation

プログラム体験メッセージ

店舗の購買データを分析する中で、現場を知ることの大切さも学びました。

自分で何かを生み出す力を磨きたいと考え、「データマイニング」を実践的に学べるDSIに参加しました。札幌市のスーパーマーケットから提供された購買データを活用し、コロナ前の2019年、コロナ禍の2020年とで売上を比較。プログラムコードを書いてデータを抽出し、来店人数や客単価の推移をまとめました。さらに、ネット通販と店舗を両方利用する顧客層に着目。読み取れた情報から「宅配サービスで新規顧客の獲得を狙えば売上アップにつながる」と考えて発表しました。分析に誤りはないものの、マーケティング責任者の方から「買い物する方の目線で考えられていない」との指摘を受け、数字だけを追うのではなく現地の様子や土地柄を知ることの重要性を学びました。発表前には教員からたびたび分析に対し詰め問の甘さを指摘され、繰り返し改善を行う中で、一つ一つの根拠を意識する論理的思考力や最後までやり抜く忍耐力が身に付きました。将来は、データと現場の双方から価値ある情報を見つけ出し、企画立案につながる仕事に携わりたいと思っています。



4年次生 / 岩崎 碧斗
(滋賀 / 県立東大津高校出身)

DSIに参加して得た経験

3年次

4月～6月	7月～9月	10月～
「データハンドリング」などの授業を通じて、コンピュータの扱い方やデータ処理の基礎を習得しました。	購買データで分析を始め、2019年と2020年で顧客の動向を比較。年間購入回数が減り、まとめ買いの傾向が見られました。	来店客数と平均客単価を元に売上金額を考える
		宅配サービスの利用有無や購入額で顧客を細分化。宅配利用層は高額注文の割合が高い点に注目し、企業への提案を行いました。

▶ ポテンシャル豊かなイノベーターを創出し、社会に貢献できる人材を育成。

グローバル社会のニーズに応えるサービス・イノベーションを生み出す

新サービスを創造するため、ビジネスの大きな動きを科学的に解析し、新しい知見を加味して考えるというイノベーターとして必要な能力を身に付けます。

データマイニング技術の習得をもとにイノベーターをめざす

膨大なデータ(ビッグデータ)から新サービスの創造に役立つ有益な情報(パターンやルール)を引き出す「データマイニング」の技術を習得します。

共同プロジェクトで企業とコラボレーション

企業との共同プロジェクトに挑戦します。大手企業の社員からのフィードバックを得られることもあり、貴重な機会となっています。

DSI 紹介ムービー

2019年度文部科学大臣表彰において、科学技術賞を受賞された矢田勝俊教授が、サービス・イノベーション特別プログラム(DSI)の概要をデータマイニングが注目されている背景とともに解説。DSIを受講し、社会で活躍するOB・OGからのメッセージもあります。

45秒 ショートバージョン

6分11秒 ロングバージョン

実践プログラム⑤

FSP

実践的な学びで高度な金融知識を身に付ける
ファイナンス
特別プログラム

金融力
×
実践力

Finance Special Program

インターンシップ体験メッセージ

企業の視点に立ち、講義とは違う角度で実践的に金融の知識を深めました。

ゼミを通じて、2024年春に新しい実践プログラムが始まること、まずトライアルとして金融業界での夏季インターンシップが実施されることを知りました。実習先には有名な銀行や証券会社の名前もあり、魅力を感じて参加を決意。正式なスタート前に、こうした業務体験の場に通常より容易にエントリーできたのは幸運だったと思います。事前授業を経て8月末から5日間、企業のオフィスでインターンシップを体験しました。私が赴いたのは、保険・証券・住宅ローンなど幅広く金融商品を扱い、ライフプランニングを行う会社です。多彩な商材や事業について教わり、コンサルティング業務に挑戦。社員の方を顧客に見立て、将来の夢や不安を聞きアドバイスを行い、相手の状況を踏まえてどう会話を運ぶかを実践的に学びました。業界を外部から分析する大学の講義とは違った角度で、企業の視点に立ち、契約者のために物事を考えるのはとても面白い経験でした。保険を乗り換えると生涯で3,000万円浮くケースもあり、金融への知識を深めて行動を起こすことが、将来への不安解消につながると実感。多くの人にお金に関して学ぶ重要性を広め、安心して過ごせる社会を作っていけたらと思います。



3年次生 / 久保田 慧斗
(大阪 / 府立阿倍野高校出身)

FSPインターンシップに参加して得た経験

5月～7月	インターンシップ中(8～9月の5日間)	10月
5月にエントリーし、6月から3回の事前授業に参加。初回に、参加者各自の希望を踏まえて実習先企業が発表されました。企業でのコミュニケーションの取り方やマナーも学び、インターンシップに向けて準備を進めました。	前半は、保険でライフプラン設計する業務を体験。後半はグループで「学生向けの金融教育プログラム」を練り、プレゼンテーションを行いました。キャラクターの人生設計を手伝うゲームを提案し、社員の方から好評をいただきました!	成果報告会に出席。インターンシップ先の企業7社の方々と参加学生、先生方を前に、プログラムで得たものを発表しました。続いて行われた懇親会では、夏の発表内容に対し社員の方から、さらにフィードバックをいただくこともできました。

商学部の学生が企画・運営を行う
関西大学ビジネスプラン・コンペティション **KUBIC**

Kansai University Biz Plan Competition

2024年度は第19回本選会が10/5(土)に千里山キャンパスで開催となります。

広報活動からイベント当日の運営まで、学生が主体となってビジネスプラン・コンペティションを盛り上げます。KUBIC(キュービック)のキャッチフレーズは「学生の力」。応募はもちろんのこと企画運営についても協賛団体や大学スタッフの支援を得ながら、学生が主体となってKUBIC学生実行委員会を立ち上げ、活動を行っています。

KUBIC「学生の力」の詳細はこちら

キャリアデザイン・資格

充実したキャリアサポート

キャリアデザインとは、自分がどのように仕事(キャリア)と関わり合っていくのかを構想(デザイン)することです。商学部でビジネスを学ぶことは、社会のさまざまなフィールドで活躍するために必要な広い視野、そして実践的な知識を獲得することにつながります。

1～2年次	3年次	4年次	卒業
大学生生活を有意義に過ごし、キャリアデザインの意識を高める。	インターンシップなどを体験し、就職活動に備える。	就職支援プログラムを活用して自分に合った進路を決定する。	
キャリアデザインセミナー、キャリアプランニングセミナー キャリアデザインについて考える機会を豊富に設けています。	インターンシップ 実際に企業・団体の職場で就業体験を積むチャンスです。	就職支援プログラム ●業界研究セミナー ●企業研究セミナー ●就職活動対策講座 ●就職模擬面接 など	

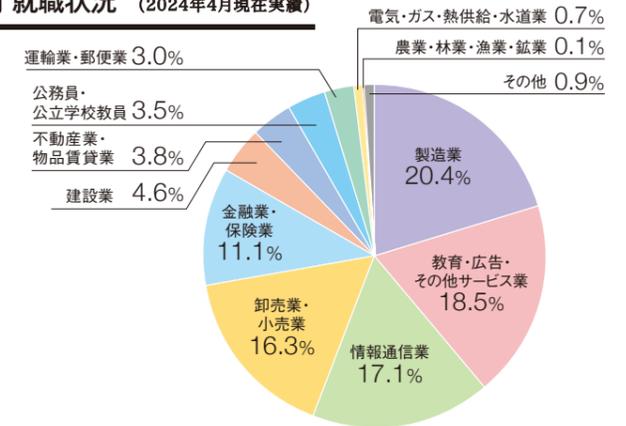
商学部でめざせる資格

公認会計士	会計の専門家であり、独立した立場において、監査業務、税務業務、コンサルティング業務などさまざまな役割を果たしています。企業の経営・財務活動を支えるニーズの高い資格です。	中小企業診断士	中小企業に対して、経営状況を診断してコンサルティングを行える国家資格です。
税理士	税金の申告をはじめ、記帳代行や決算書作成など、税務および会計全般の業務を行う唯一のプロフェッショナルです。企業のみならず個人の納税までサポートする社会貢献度の高い国家資格です。	国税専門官	国税局や税務署に勤務し、租税財源を確保するため、納税者への指導、督促などの業務を行う専門職です。
日商簿記検定	日本商工会議所等が実施する社会的評価の高い簿記の検定試験。経理・財務をはじめ経営管理に役立つ知識として、企業に最も求められる資格の1つです。商学部では就職に有利な2級以上合格を推奨しています。	不動産鑑定士	土地や建物などの不動産の評価や担保としての価値を判断するための国家資格です。
		証券アナリスト	投資についての高度な専門知識と分析能力を駆使して、投資家へのアドバイスや投資管理の情報を提供します。
		教員免許	中学校の社会科、高等学校の地理歴史科、公民科、商業科の教員をめざすことが可能です。

商学部生の就職率 (2024年4月現在実績)

男子学生 **97.7%**
女子学生 **99.7%**

業種別就職状況 (2024年4月現在実績)



卒業生の就職先の一例 (2024年4月現在実績)

製造業	アイリスオーヤマ/アサヒビール/アシックス/アズビル/伊藤園/伊藤ハム/AGC/NTN/エフピコ/大阪シーリング印刷/オカムラ/オリバー/キーエンス/グンゼ/コクヨ/コニカミノルタ/サカイク/サントリーホールディングス/ジェイテクト/シャープ/SCREENホールディングス/住友電装/セイコーエプソン/ダイフク/タカラスタンダード/タキロンシーアイ/DIC/THK/東芝テック/東洋製罐グループホールディングス/TOYO TIRE/TOPPAN/日清製粉グループ本社/日新電機/日東電工/日本触媒/ニデック/長谷川香料/パナソニックグループ/バンダイ/日立製作所/日立造船/日立パワーソリューションズ/不二製油/富士電機/古河電気工業/古野電気/マキタ/三菱電機/三菱電機ビルソリューションズ/ミツ星ベルト/村田機械/村田製作所/森永乳業/山崎製パン/理想科学工業/レゾナック/レンゴー/YKK AP など	金融業・保険業	あいおいニッセイ同和損害保険/池田泉州銀行/オリックス/関西みらい銀行/紀陽銀行/京都銀行/京都中央信用金庫/近畿労働金庫/滋賀銀行/ジブラルタ生命保険/商工組合中央金庫/全国労働者共済生活協同組合連合会/第一生命保険/大和証券/東京海上日動火災保険/南都銀行/日本生命保険/野村證券/みずほ銀行/みずほ証券/三井住友銀行/三井住友信託銀行/三菱UFJ銀行/三菱UFJニコス/明治安田生命保険/りそなグループ など
教育・広告・その他サービス業	アクセンチュア/EY新日本有限責任監査法人/近畿日本ツーリスト/大和総研/ダスキン/帝国データバンク/有限責任監査法人トーマツ/西日本高速道路(NEXCO西日本)/日本旅行/非破壊検査/読売広告社 など	建設業	旭化成ホームズ/きんでん/熊谷組/清水建設/住友電設/積水ハウス/大和ハウス工業/高砂熱学工業/LIXIL など
情報通信業	伊藤忠テクノソリューションズ/NECソリューションイノベータ/オービック/オブテック/KDDI/コナミグループ/コベルコシステム/JCOM/スクウェア・エニックス/SMI情報システム/都築電気/TIS/DTS/ニッセイ情報テクノロジー/日本電気通信システム/日本総合研究所/パナソニックインフォメーションシステムズ/日立システムズ/富士ソフト/富士通/富士通Japan/富士フイルムビジネスイノベーション/三井情報/MonotaRO/吉本興業ホールディングス/読売新聞大阪本社/LINEヤフー/リクルート など	不動産業・物品賃貸業	イオンモール/オリックス自動車/関電不動産開発/住友不動産販売/セキスイハイム不動産/東急不動産/みずほリース など
卸売業・小売業	アズワン/イオンリテール/因幡電機産業/岩谷産業/岡谷銅機/キャノンマーケティングジャパン/コニカミノルタ/サンゲツ/JFE商事/シャープマーケティングジャパン/第一実業/ダイロン/大丸松坂屋百貨店/田村駒/橋本興業/デザインアーク/東海源粉/豊島/トラスコ中山/長瀬産業/ニトリ/PALTAC/阪和興業/マクニカ/ミズミ/山善/良品計画 など	公務員・公立学校教員	国家公務員一般職/国税専門官/兵庫県職員/奈良県職員/大阪市職員/福井市職員/名張市職員/大東市職員/羽曳野市職員/静岡市消防吏員 など
		運輸業・郵便業	京阪ホールディングス/全日本空輸(ANA)/東海旅客鉄道(JR東海)/西日本旅客鉄道(JR西日本)/日本通運/三井倉庫ホールディングス/郵船ロジスティクス など
		電気・ガス・熱供給・水道業	関西電力/四国電力 など
		農業・林業・漁業・鉱業	ENEOS など
		その他	日本中央競馬会 など

※原則として業種別、50音順で記載しています。

OB・OG

卒業生からのメッセージ

ビジネスを学んだ学生は、当然就職にも強い！
厳しい就職環境の中でも、商学部は毎年全国平均を上回る就職率をあげています。

流通専修

株式会社TKC
井上 沙弥さん
(2022年3月卒業)

幅広い知識で企業の課題解決を支援

自社が提供する会計システムやサービスを活用し、税理士事務所とその取引先企業の課題を解決へ導く仕事をしています。税務の知識、ITスキル、営業スキルなど幅広い力が求められますが、大学時代に会計を学んだためスムーズに仕事が身に付きました。担当先の税理士事務所に加えて、その顧客である企業に対しても課題に沿った提案を行うため、大学で学んだ流通の知識が役立っています。在学中に講座に通って取得した簿記検定2級の資格も、今の業務につながりました。商学部を選ぶ方には、ぜひ大学の支援制度を活用して自分の強みを増やしておくことをお勧めします。

ファイナンス専修

第一生命保険株式会社
宗田 侑里香さん
(2022年3月卒業)

今と将来の暮らしをサポートする

生命保険の商品を、担当企業の社員の方に提案する営業職を担当しています。予防医療や保険の大切さを分かりやすく伝え、お客さまの状況に合わせた提案を行うことで、今と将来の暮らしをサポートできます。ライフプランを設計する際は、家計の現状から問題点を見つけて改善策を考えるため、金融の知識が欠かせません。商学部で金融機関の仕組みや保険のメカニズム、租税制度などを幅広く学んだことが役立っています。今後もお客さまと関わる中でさまざまな考え方や価値観に触れ、「あなただから信頼できる」と言われる人材をめざして成長し続けたいと思います。

国際ビジネス専修

パナソニック株式会社
藤田 夏未さん
(2007年3月卒業)

お客さまの声からサービスを向上

家電製品のサービス部門で、係長としてwebサポート業務に携わっています。年間約200件のお客さまの声をもとにサイトのFAQ(よくある質問)を作成し、お客さまが困り事を自己解決できるよう導くほか、届いた声をものづくり部門に伝えて商品改善につなげるなど、顧客満足の向上をめざし活動しています。在学中にゼミ研修の一環で、アンケート結果から課題・対策を検討しましたが、その時の経験は「お客さまの生の声を役立てる」という今の業務の根本につながっていました。そのころ取得したオフィスソフトの資格も、日々の資料作成に直結しています。

マネジメント専修

大阪国税局
樽本 周弥さん
(2020年3月卒業)

4年間の学びを適切な課税につなぐ

企業や組織の決算書、貸借対照表、損益計算書などを読んで財務状況を調べ、いろいろな工夫と配慮をしながら適切な課税を行う仕事です。大学で学んだ経営戦略や会計知識を活用して、社会に貢献できる職務にやりがいを感じます。近年はITと関連する新しいビジネス形態が増えているため、IT業界のイノベーションを商学部で学んだことも、業界と経済のトレンドを踏まえた業績評価や課税評価に生きています。在学中は公務員試験の勉強と並行し、留学生との交流を通じて英語力も高まりました。今後はさらに語学力を磨き、国際課税に携わることを目標にしています。

会計専修

野村證券株式会社
上田 一樹さん
(2020年3月卒業)

企業経営者との交流でスキルアップ

証券会社の法人営業として、主に未上場企業とそのオーナーの方を対象に、資産の運用や事業継承、会社の売却・買収など幅広いサポートを担当しています。経営者や役員の方々には金融・経済の専門知識をもっているため、営業側にも豊富な知識とコミュニケーション力が求められます。企業の決算書を読んで提案を行う機会も多く、会計専修で得た知識を生かしながら、ハイレベルなビジネスパーソンと接してスキルアップにつなげています。社会人になった今、私が「素敵だな」と感じる人は全員、いろいろな経験を積んでいます。ぜひ大学で一つでも多くのことに挑戦してください。